

食

Food



京を醸す

地元の水と京の米で造る個性豊かな日本酒。

ホップから育てたクラフトビールや、地域のボタニカル香るクラフトジン。

京都ならではの伝統と革新が醸す多様な味わいをお愉しみください。

Brewing Kyoto

Highly unique brands of sake are brewed from local water and Kyoto-grown rice. Other options include craft beer brewed from locally grown hops and craft gin infused with the aromatic essence of regional botanicals. Enjoy the diverse flavors of Kyoto, which emerge where innovation meets the distinctive local traditions.

- 1 京都府酒造組合連合会
The Kyoto Sake Makers Association
- 2 与謝野ホップ振興協議会
Yosano Hop Promotion Council
- 3 京都蒸溜所
The Kyoto Distillery

1

京都府は全国2位の生産量を誇る 日本酒の生産地

豊富な水に恵まれた地形

京都府は中部から北部は山間部が多いため水源が多く水量豊かであり、南部は大河川が集まる盆地地形であるため地下水が豊富です。

出汁文化に培われた京都の日本酒

京都市内に都がおかれ、往来する多様な人々の嗜好を満足させるために求められた料理は、食材の風味を活かす出汁文化であり、こうした料理の風味にも合う酒造りが進みました。

歴史とともに造り上げた日本酒文化

2024年、日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。京都では古来より酒造りが行われ、この伝統文化を支えています。



京都府酒造組合連合会
京都市伏見区西大手町322-2



2-1

与謝野ホップでつながる 笑顔と乾杯の輪

全国初"フリーランス"のホップ農家

2015年から与謝野町のプロジェクトとしてホップ栽培を開始しました。大手ビールメーカーと契約をしていない"フリーランス"のホップ農家として、その歴史は始まりました。

一つひとつ手摘みで収穫

与謝野ホップは、一つひとつ手摘みで収穫し、その日のうちに真空冷凍し保管しています。そのため、フレッシュな香りが愉しめるのが最大の魅力です。

ホップを使って地域を盛り上げる

ホップの収穫体験や採れたてのホップを楽しめるビールイベントを実施し、地域の活性化に取り組んでいます。



与謝野ホップ振興協議会
与謝郡与謝野町字加悦433番地



2-2

与謝野町で作られたホップを使用した クラフトビールたち

ASOBI Pale Ale — アソビ ペールエール

京都与謝野町産のフレッシュホップを使用したクラフトビールの定番「ペールエールスタイル」のビールです。柑橘のような華やかなアロマ、ホップ畑を連想させる京都与謝野産ホップの青々とした風味が、モルトの優しい甘味、キリッと、だけど強すぎないホップの苦味とバランスよく絡み合った味わい深さが特徴です。



京都 YOSANO IPA — キョウトヨサノ アイピーエー

京都発、華やかな香りのクラフトビール

京都与謝野町産ホップをふんだんに使用した、京都ならではのクラフトビール。青々しく柑橘のような華やかな香りと上品で心地よい苦味が味わえます。SPRING VALLEY BREWERY京都 限定醸造です。



与謝野ホップ振興協議会
与謝郡与謝野町字加悦433番地

2-3

与謝野町で作られたホップを使用した クラフトビールたち

テロワールKYOTOゴールドエン

京都府与謝野産のコロンバスホップと京都府亀岡産の麦芽を使用した、京都一色の「ゴールドエンエール」です。みずみずしいホップの香りと、国産麦芽による深みのあるコクがしっかり楽しめるのに、すっきりとしたのどごしが特徴です。



常陸野ネストビール グリーンホップスラガー

麦芽とホップにこだわったラガービールです。ホップには、京都府与謝野産のホップ「カスケード」をメインに使用し、100%国産の麦芽を使用して醸造しました。みずみずしいホップの香り、国産麦芽による深みのあるコクをお楽しみください。



与謝野ホップ振興協議会
与謝郡与謝野町字加悦433番地

3

京都発、プレミアムクラフトジン：「季の美 京都ドライジン」

ドライジンと京都産素材の融合

玉露、柚子、生姜など、京都産の素材を積極的に使用した国産のジン。ロンドンスタイルのドライジンに和の素材を合わせた、洋酒の垣根を超えた味わいが特徴です。

世界も認めるクラフトジン

世界的な酒類品評会、IWSC(The International Wine & Spirit Competition)において、「インターナショナル・ジン・プロデューサー・オブ・ザ・イヤー」を2度受賞するなど、国内外で高く評価されています。



京都蒸溜所
京都市南区吉祥院嶋野間詰町15

京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



原山の茶畑

撮影地：原山の茶畑（円形茶畑）
（京都府相楽郡和束町）



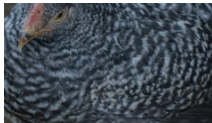
石寺の茶畑

撮影地：石寺の茶畑（京都府相楽郡和束町）



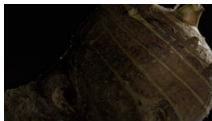
京野菜の畑

撮影地：かたもとオーガニックファーム
（京都府亀岡市）
協力者：かたもとオーガニックファーム



京地どり

撮影地：岡本ファーム（京都府福知山市）
協力者：株式会社岡本ファーム



海老芋

撮影地：スタジオ（亀岡市ほか）



手作りのパン

撮影地：農家/パン弥栄窯（京都府京丹後市）
協力者：農家/パン弥栄窯



京野菜の畑

撮影地：かたもとオーガニックファーム
（京都府亀岡市）
協力者：かたもとオーガニックファーム



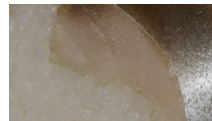
京野菜の畑

撮影地：かたもとオーガニックファーム
（京都府亀岡市）
協力者：かたもとオーガニックファーム



聖護院だいこん

撮影地：スタジオ



鯖寿司

撮影地：スタジオ（京都市）

映像紹介



椀もの

撮影地:そ/s/KAWAHIGASHI
(京都市左京区)

協力者:One Rice One Soup 株式会社



日本酒

撮影地:スタジオ(京都市伏見区)



包丁の技術

撮影地:そ/s/KAWAHIGASHI
(京都市左京区)

協力者:One Rice One Soup 株式会社



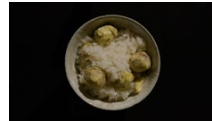
薄口醤油

撮影地:松野醤油(京都市北区)
協力者:松野醤油



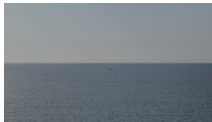
牡蠣

撮影地:スタジオ(京都府舞鶴市)



丹波くりを使った栗ご飯

撮影地:スタジオ(京丹波市)



京丹後近海をゆく漁船

撮影地:京都府京丹後市(京都府京丹後市)



サイフォンコーヒー

撮影地:はなふさ珈琲 イースト店
(京都市左京区)

協力者:はなふさ珈琲 イースト店



京豆腐の製造過程

撮影地:入山豆腐店(京都市上京区)
協力者:入山豆腐店



農家パン弥栄窯

撮影地:農家/パン弥栄窯(京都府京丹後市)
協力者:農家/パン弥栄窯

映像紹介



京豆腐(焼き豆腐)の製造過程

撮影地:入山豆腐店(京都市上京区)

協力者:入山豆腐店



サイフォンコーヒー

撮影地:はなふさ珈琲 イースト店
(京都市左京区)

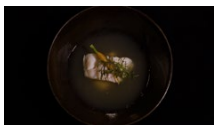
協力者:はなふさ珈琲 イースト店



和菓子の製造過程

撮影地:京菓子司 末富(京都市下京区)

協力者:京菓子司 末富



椀もの

撮影地:そ/s/KAWAHIGASHI
(京都市左京区)

協力者:One Rice One Soup 株式会社



拾遺都名所図会

協力者:「拾遺都名所圖會 4巻」
(京都府立京都学・歴彩館所蔵)



会食を楽しむ人々

撮影地:そ/s/KAWAHIGASHI

(京都市左京区)

協力者:One Rice One Soup 株式会社



煎茶を入れる

撮影地:スタジオ(宇治市)

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AQZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会